

安全データシート

作成日 2016年 6月 1日

改訂日 2019年 1月15日

1. 製品及び会社情報

製品名 アスファルト乳剤
会社名 墨東化成工業株式会社
所在地 〒130-0025 東京都墨田区千歳一丁目8番14号
電話番号 03-3635-1111(代表)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 分類対象外(シンボル:なし、注意喚起:なし)

* 上記で記載がない危険有害性は分類対象外、もしくは分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

急性毒性(経皮) 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

急性毒性(吸入/気体) 分類対象外(シンボル:なし、注意喚起:なし)

急性毒性(吸入/蒸気) 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

急性毒性(吸入/ミスト・粉塵) 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

呼吸器感作性 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

皮膚感作性 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

生殖細胞変異原性 区分2(シンボル:健康有害性、注意喚起:警告)

発がん性 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

生殖毒性 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

特定標的臓器毒性(単回暴露) 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

特定標的臓器毒性(反復暴露) 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

吸引力呼吸器有害性 分類できない(シンボル:なし、注意喚起:なし)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 区分3

水生環境有害性(慢性) 区分3

オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれの疑い

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

一般

主な成分はストレートアスファルト、水、そして鉱油である。そのほかの成分として、界面活性剤や安定剤も含まれているため、皮膚への付着や目に入った場合には、速やかな対応が必要となる
製品自体に可燃性はないが、水が蒸発した後の残留物(主にストレートアスファルト)は可燃性を有する
本来の用途以外に使用しないこと

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること
すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと
環境への放出を避けること
保護手袋や保護衣を着用し、必要に応じて保護眼鏡や保護面を着用すること

応急措置

ばく露又はばく露の懸念があり、気分が悪い場合には医師の診断を受けること

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密封しておくこと
施錠して保管すること

廃棄

内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物	
一般名	カチオン系アスファルト乳剤	
化学式	特定できない	
濃度又は濃度範囲	使用材料	含有量(%)
	ストレートアスファルト	50-62
	水	38-50
	鉱油	0-3

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること
症状が続く場合には、医師に連絡すること

皮膚に付着した場合

付着した衣類、靴を脱ぎ、付着した部分を大量の水や石鹼水を使ってよく洗うこと
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は速やかに医師に連絡すること

眼に入った場合

直ちに大量の水でまぶたの内側を 15～20 分間注意深く洗うこと
コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外し、外した後も洗浄を続けること
症状が続く場合には、医師に連絡すること

飲み込んだ場合

水でよく口の中をすすぎ、速やかに医師の診断を受けること

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

現在のところ有用な情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する

医師に対する特別な注意事項

現在のところ有用な情報なし

5. 火災時の措置

適した消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂が有効

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける

特定の危険有害性

このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の残留物は可燃物である

火災等の場合、毒性の強い分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類)が発生する

可能性がある

特有の消火方法

消火活動は風上から行う

火災場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを規制する

危険でなければ、火災区域から容器を移動する

消火を行うものの保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する

その他の情報

化学火災に対する一般的な消火方法を用いる

周りの状況や環境を考慮して、適切な消火器具を選択する

燃焼時等に発生する煙等を吸い込まないようにする

消火に用いた消火剤や水は回収し、その地方の法規制に準じて処理する

6. 漏出時の措置

人に対する注意事項、保護具及び緊急措置

付着物を速やかに流し去り、ふき取る

関係者以外の立ち入りを禁止する

作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や

吸入を避ける

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品を環境中へ流出させない

封じ込め及び浄化の方法及び機材

水中に漏出したときには、多量の場合、盛土等で覆って拡散を防止し、ポンプ等で吸引回収する

少量の場合、油吸着マット等を使用するか、土砂等を混ぜ、モルタル状として凝集回収する

二次災害の防止策

河川、湖沼等へ流出した場合には、必要に応じて消防署や都道府県市町村の公害関連部署、

河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡をとる

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する

安全取扱注意事項

使用前に取扱い説明書を入手すること

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと

容器を密封しておくこと

保護手袋や保護衣を着用し、必要に応じて保護眼鏡や保護面を着用すること

取扱い後、よく手を洗うこと

製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしないこと

製品には水を含有するため、水と反応する物質を近くに配置しないこと

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない

接触回避

現在のところ有用な情報なし

衛生対策

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること

使用後は空気が触れないように容器を密封し、長期間の保管を避けるとともに、異物が入らないようにすること

保管時の温度は5℃以下、又は35℃以上とならないように、凍結、直射日光を避け、屋内に保管すること

安全な容器包装材料

製品仕様の容器に準ずる

混触禁止物質

製品には水を含有するため、水と反応する物質(生石灰、反応金属、強酸化剤、脱水剤等)

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

データなし

許容濃度(日本産衛学会)

データなし

許容濃度(ACGIH)

データなし

設備対策

屋内作業所での使用は、密封装置又は局所換気装置を使用する
取扱い場所の近くにはシャワー、手洗い、洗顔設備等を設ける

保護具

呼吸器用保護具

必要に応じて、保護マスクや呼吸用保護具を着用する

手の保護具

不透水性ゴム手袋(耐油性であることが好ましい)を着用する

目の保護具

必要に応じて、保護メガネ等を着用する

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、長袖作業着、安全靴等を着用する

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	茶褐色
臭い	弱い特異臭
pH	3~5
融点・凝固点	約0°C（水と同程度）
沸点・初留点及び沸点範囲	約100°C（水と同程度）
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、液体)	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	約 1.02 (25°C)
溶解度	水に容易
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	約 30-80 mPa・s (25°C)

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では安定、水との反応性なし
化学的安定性	常温で安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結、直射日光を避ける
混触危険物質	水と反応する物質(生石灰、反応金属、強酸化剤、脱水剤等)
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	製品についての情報 データなし、GHS 分類は分類できない 成分についての情報 データなし
急性毒性(経皮)	製品についての情報 データなし、GHS 分類は分類できない 成分についての情報 データなし
急性毒性(吸入／気体)	製品についての情報 データなし、GHS 分類は分類対象外 成分についての情報 データなし
急性毒性(吸入／蒸気)	製品についての情報 データなし、GHS 分類は分類できない 成分についての情報 データなし
急性毒性(吸入／粉塵・ミスト)	製品についての情報 データなし、GHS 分類は分類できない 成分についての情報 データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	製品についての情報 データなし、GHS 分類は分類できない 成分についての情報 データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	製品についての情報 データなし、GHS 分類は分類できない 成分についての情報 データなし

呼吸器感作性	製品についての情報	データなし、GHS 分類は分類できない
	成分についての情報	データなし
皮膚感作性	製品についての情報	データなし、GHS 分類は分類できない
	成分についての情報	データなし
生殖細胞変位原性	製品についての情報	データなし、GHS 分類は区分2
	成分についての情報	鉱油 腹腔内注射によるテストでは、ラットの骨芽細胞に染色体異常の増加が見られた
発がん性	製品についての情報	データなし、GHS 分類は分類できない
	成分についての情報	データなし
生殖毒性	製品についての情報	データなし、GHS 分類は分類できない
	成分についての情報	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	製品についての情報	データなし、GHS 分類は分類できない
	成分についての情報	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	製品についての情報	データなし、GHS 分類は分類できない
	成分についての情報	データなし
吸引力呼吸器有害性	製品についての情報	データなし、GHS 分類は分類できない
	成分についての情報	データなし

12. 環境影響情報

生殖毒性	
水性環境有害性(急性)	データなし、GHS 分類は区分 3
水性環境有害性(長期間)	データなし、GHS 分類は区分 3
残留性・分解性	データなし
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと

都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理すること

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切に処分すること
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	—
国連品名	—
国連危険有害性クラス	—
副次危険	—
容器等級	—
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78 付属書及び IRC コードによるばら積み運送される液体物質	該当しない

国内規制

陸上規制情報	船舶安全法に従う
航空規制情報	航空法に従う
陸上規制情報	消防法、道路法に従う

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

* 法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載している。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認する。

化審法	アスファルト、鉱油
労働安全衛生法	アスファルト、鉱油
化学物質管理促進法(PRTR 法)	該当せず
消防法	該当せず
港則法	該当せず
道路運送車両法	該当せず
海洋汚染防止法	油分排出規制
下水道法	鉱油類排出規制
船舶安全法	船舶安全法の定めに従う
航空法	航空法の定めに従う
水質汚濁防止法	油分排出規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制

16. その他の情報

製品は、一般工業向けに開発されたものです。特殊な用途へのご使用に際しては、貴社にて安全性をご確認ください。本品のご使用またはお取扱いに際しましては、事前にSDSより、製品を取り扱うすべての人々に対して、SDSの情報及びその他の安全・災害に関わる業法の周知徹底をお願い致します。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、如何なる保証をなすものではありません。

【注意】 このデータシートは製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全を十分保障するものではありません。